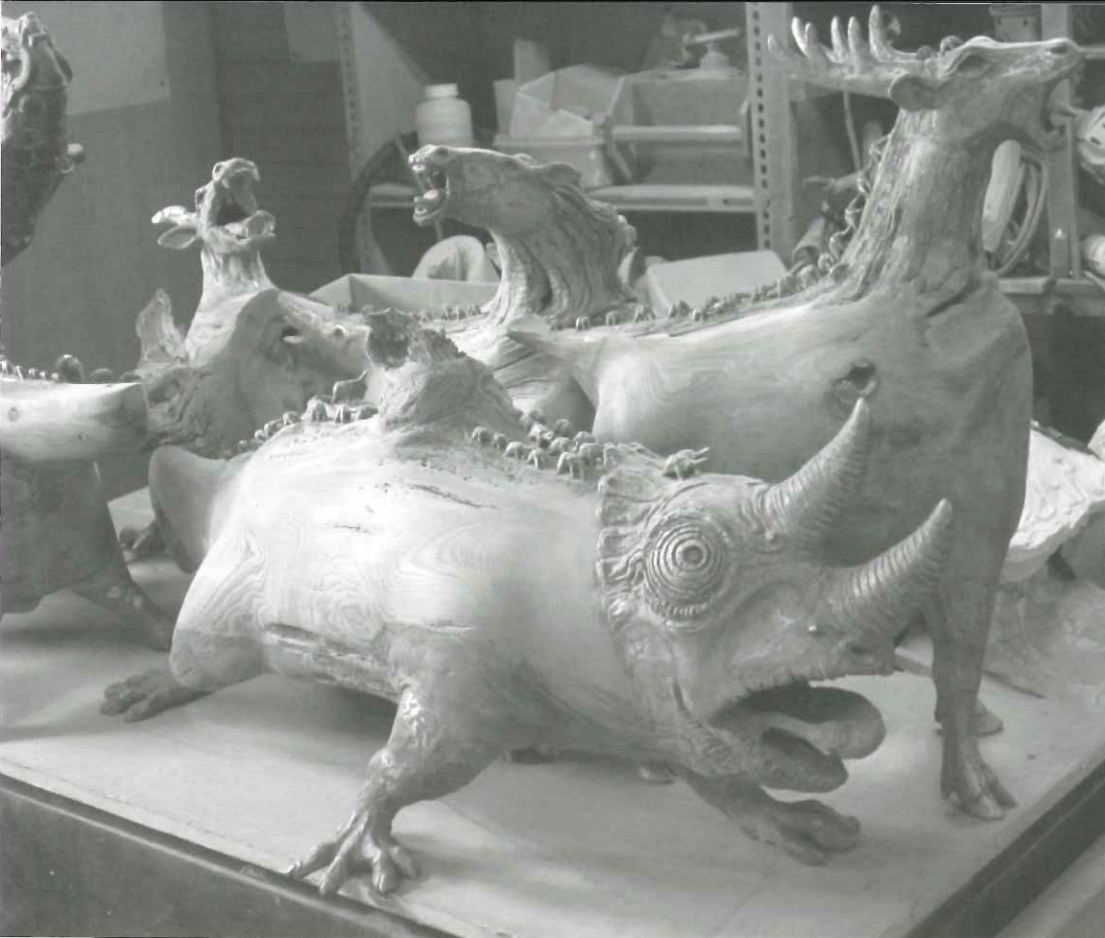


# 天野裕夫 彫刻の世界



2010.12.30日作新する  
成  
2020までこのアトリエに居るとは思えなかつた  
途中でたかがもれたい たこ長のます自たが  
下部にその月のトピックを



平成29年 9月9日(土)～11月12日(日)  
午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

対談

『天野裕夫のこれまでとこれから』  
10月14日(土) 午後1時30分～3時30分  
岐阜県美術館副館長 正村 美里 氏

 瑞浪市市之瀬廣太記念美術館

〒509-6133 岐阜県瑞浪市明世町戸狩2-17 TEL 0572-68-9400  
休館日：毎週月曜日・9月19日(火)・10月10日(火)・11月7日(火)  
※9月18日(月)、10月9日(月)は開館  
主催：瑞浪市教育委員会

 国際陶磁器フェスティバル美濃'17 協賛事業  
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL '17 MINO JAPAN

# 天野裕夫 彫刻の世界

## ごあいさつ

この度の展覧会は、陶を中心とした30点程を出品します。

この美術館では、22年前にも開催させていただきました。プロの作家としての自覚が生まれた頃でした。あれからぞっとする程たくさんの作品を作ってきました。ガラスや木も使うようになり、物を創り出した欲はエスカレートするばかりです。

山の上の小さな町から、東京へ行って彫刻家になるんだと思い定めて45年、いつかは故郷に帰ると思ってきましたが、来春やっと想いが遂げられます。このタイミングで皆様に近作を観て頂けること、大変嬉しく思っております。

これからは大湫のアトリエで彫刻します。親しい人に百歳までとか、次の還暦までやると言われて笑われますが、正直なところやれるだけやるといふことでしょう。

僕は物事や物に反応して彫刻するタイプです。外界に向けての興味があり、出会いがある限り造り続けるでしょう。



## 著者プロフィール・主な受賞歴等

- 1954 瑞浪市大湫町に生まれる
- 1978 多摩美術大学大学院彫刻科修了
- 1984 第3回高村光太郎大賞展  
彫刻の森美術館賞受賞
- 1986 第1回ロダン大賞展  
美ヶ高原美術館賞受賞
- 1988 '88日本現代陶彫展銀賞受賞(岐阜)
- 1994 第5回日本現代陶彫展'94入選
- 1996 第8回神戸具象彫刻大賞展準大賞、  
及び神戸市民賞受賞  
第6回日本現代陶彫展'96金賞受賞
- 1999 第2回ユーモア彫刻展'99大賞受賞(岐阜)
- 2002 第2回円空大賞展 知事賞受賞(岐阜)
- 2005 多摩美術大学客員教授に着任
- 2010 瑞浪市役所に「象二塔」設置
- 2012 瑞浪市土岐町 櫻堂薬師に  
「蓮実卯頂多頭亀観音」設置



① 大艦巨砲主義  
Big Cannon Ism (2007)  
W165cm 陶・ブロンズ・ガラス

こんな言葉もありました。子どもの頃からの夢だった戦艦大和を一度は自分の作品として作ってみたいかった。

⑥ 雨乞鱷  
Praying For Rain Crocodile (2009)  
H77cm 陶・ガラス

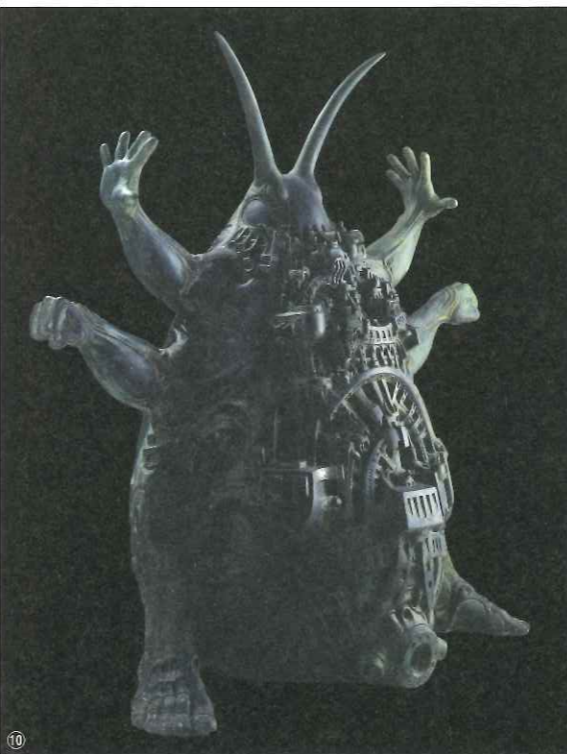
恵みの雨が欲しいと太った鱷が天に祈っている姿を、ガラスのグラデーションを使い表現した。慈雨、汁…?

② セツ目大黒象  
Seven Eyes Ganesha (2008)  
W136cm 陶・ブロンズ・ガラス

ほとんど顔だけ、全体が象の顔です。俵の上で大きな袋を背負う大黒様のフォルムを借りた。

⑦ 象豚猪  
Elephant Pig Boar (2016)  
W180cm 陶・ブロンズ・ガラス

198頭の象を乗せた超巨大なイノシシ。体が大きく見た目も怖いがとても優しい。当初の命名は「象と猪」で計199頭、豚を加えてジャスト200頭。

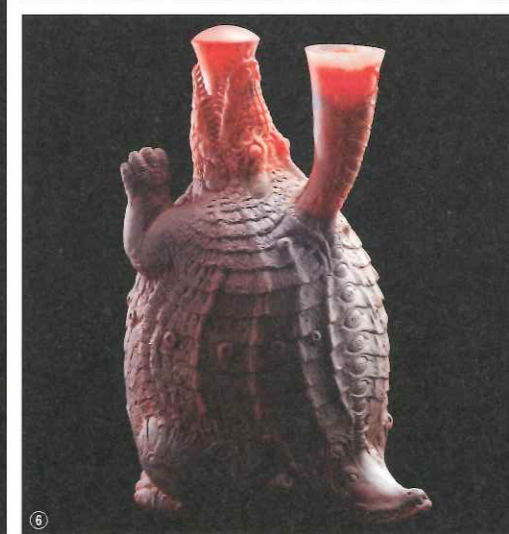
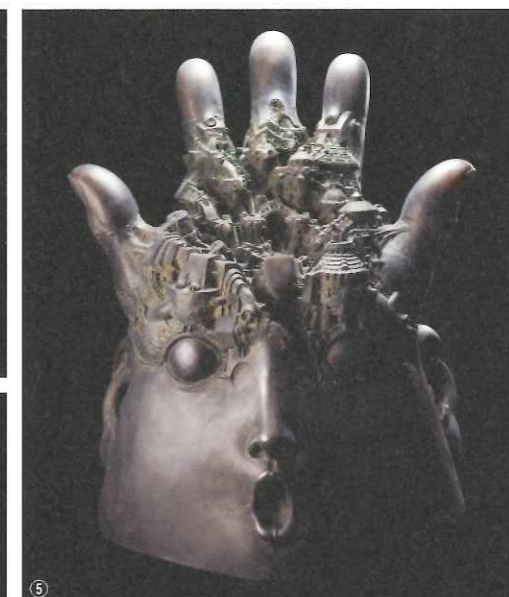


③ 二律背反都市  
Antinomy City (2009)  
W132cm 陶・ガラス

一つの胴体に二つの頭を持つ三日月形の像、相反する考え方を持った二つの都市が、危ういようでも成り立っているこの世界を示す。

⑧ キリン塔  
Giraffe Tower (2016)  
H104cm 木・ブロンズ

キリンのシュッとした姿が好き。背が高いから塔にむく。

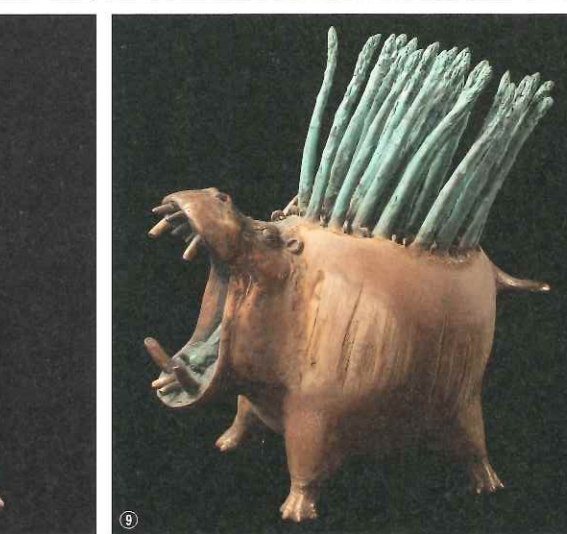


④ 天壇蛙  
Temple Heaven Frog (2012)  
H113cm 石・ブロンズ

かつて中国の皇帝が天との交信の場としてつくった天壇を背負う。アトリエ近くでの大石との出会いがこの像を産んだ、蛙にみえた?

⑨ アスバラ森林河馬  
Asparagus Forest Hippopotamus (2017)  
H152cm 木・ブロンズ

アスバラの大森林の間に象が見え隠れする、この森はゆうに100mを越えるスケール。アスバラの伸びてゆく姿に触発されて制作。



⑤ 手工神  
Craftman God (2009)  
H102cm FRP

職人の神様を造って欲しいとの依頼に応え、悟空がお釈迦様の草の内で…との故事もヒントに、造った。

⑩ 護鬼佛理天  
Cockroach Guardian Deity (2000)  
H165cm FRP

西暦2000年に奈良のお寺に奉納されたゴキブリの供養塔。3億年前にこの地球上に現れたゴキブリと新参者の人類との葛藤を表現、奇界遺産!!

写真クレジット：①②、林 敏英；③～⑥、三浦興一；⑦～⑨、大村洋介；⑩、二塚一徹